

課題と対策

問2 楽しくない遊びよりも楽しい遊びの方が多くあり、良かったです。

今年度は東京都に合わせた内容で子ども達が質問内容を理解するために本来ならば個別で指導をしたかったです。一斉にアンケートを行ったため質問内容をわかりやすく伝えて行いましたが、理解せずに答えている質問が多いのが残念です。その為、質問内容が長いほど無回答の数が多くなっています。

問3 何故、ドミノを倒してしまったのか等、話を聞き仲直りしましたが、未然に防げるようドミノをする際は、コロナ禍で使用していたアクリル板でコーナーを作ったことで、外部から人が入りにくくなり、ゆっくり遊べるように改善しました。

問4 おやつは毎月献立があります。誕生会等の行事時には「なんでもポスト」(子ども達のリクエストを回収できる)に入っている子ども達の声を反映しています。

問6 短い言葉で簡潔に伝えるようにしています。一人ひとりの情報を得る方法は、得手不得手があるため、絵や文字、言葉など様々な方法で支援しています。ルールの必要性、場面ごとに皆が居心地良く過ごせ、安全安心を守るためということに繋げていきます。自由とやりたい放題の違いを常日頃から伝えています。自由の中にはルールがあることを意識し見守っています。

問7 清明小学童は夕方にお掃除の時間を作っています。自分たちで使用した本やおもちゃ、椅子等を整理しています。その際に異年齢のチームで行い、上級生が下級生を優しく見守ってくれる姿に出会う毎日です。集団が苦手な子ども達は、個別の掃除を自ら手伝ってくれます。(靴箱、棚拭き等)

学童公開をした時に保護者の方々からアンケートにて、おやつ後にテーブルの下をミニハウキで掃除をする姿に感動され、自宅でも取り入れてみたいとの回答がありました。

問8 子ども達からの愛情を感じ嬉しいです。名前は保護者の方々からの贈り物のため、「さん」を付けています。

問9.10 仲間意識が芽生え、昼間のきょうだいのような関係を目指しています。変化に気づき助け合いたいという気持ちを受取ることができたことに感謝します。

問11~14 自由意見はありませんでしたが、学童に対する意見要望で、今年度は昔遊び(けん玉・こま・あやとり・めんこ)を隔月に取り入れています。

他学童よりもイラストでの回答が多かったと聞きました。

遊びや、おもちゃ、本の種類を前年度より多くして日々、進化していきたいです。

学童を始めて良かった、来て良かったの声を励みに今後ともチーム清明としてまとめていきたいです。